# 保護者様

### 札幌市教育委員会

# 結核検診のお知らせ

札幌市立の小・中学校におきましては、結核の有無に関して全児童・生徒を対象に問診調査を実施し、必要と思われる場合に胸部X線直接撮影などの検査を行っております。

つきましては、<u>別紙「結核検診問診票」(以下、問診票といいます。)をお読みのうえ、必要</u> 事項をお書きいただき、提出期限までに学校へ提出してください。

# 結核検診についての留意事項

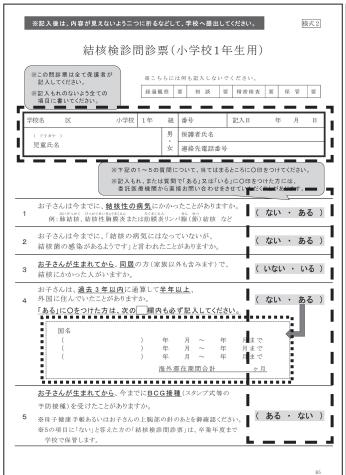
- ① 問診票の記入内容について、委託医療機関から保護者様に直接お問い合わせする場合 がありますので、**連絡先電話番号を必ず記入してください**。
- ② 経過観察や精密検査等の対象となったお子さまには、学校から連絡の用紙をお渡ししますので、内容を御確認ください。

### 結核検診問診票の記入

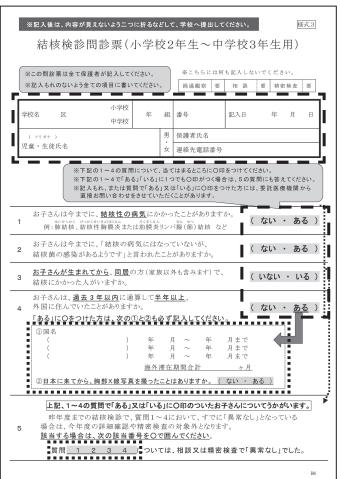


※ [ \_ \_ ] 内は必ずお書きください。

#### 小学校1年生用



小学校2年生から中学校3年生



#### 結核検診の理解のために

# 結核について

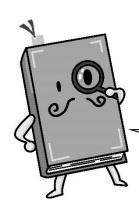
わが国の結核は、国を挙げての対策が実り以前に比べて発生は減少しています。しかし未だに全国で約 1.7 万人、札幌で 150~180 人前後の患者が毎年発生しています。過去の病気と思われがちですが、決して油断出来ません。

小中学校に通学する児童生徒は免疫が十分に完成しておらず、 様々な病原体により病気が起こる可能性があります。結核菌に対し てもほとんどの児童生徒は免疫が不十分です。

結核は病気の進行が緩やかで、発見が遅れがちです。発見された 段階で家族、周囲の児童生徒などに感染させてしまっている事例も 少なくありません。

学校という集団生活の場においては結核の早期発見・治療が極めて重要となります。

# 2週間以上長引く「せき」や「たん」、微熱の症状はありませんか?



結核に特有な自覚症状はなく、一般的なかぜとほとんど同じですが、 「せき」や「たん」がしつこく続くことがあります。

2週間以上長引く「せき」や「たん」、「微熱」の症状がある場合、結核 の可能性があります。早めに医療機関を受診し、検査をうけていただくこ とが重要です。

結核を含めたさまざまな病気の早期発見・早期治療 のために毎日の健康観察を行いましょう。

- ※ 問診調査は、毎年、全学年を対象に実施しますが、すでに<u>前年度の結核検診で精密検査を受けた場合や、現在、経過観察中または治療中の場合は、精密検査等の対象にならないことがあります。</u>
- ※ お子さまの問診票の保管の要否は、札幌市教育委員会が決定致します。
- ※ 卒業年度末まで保管が必要なお子さまの場合、学校で保管します。
- ※ 上記以外のお子さまの場合、年度末ごとに学校で廃棄致します。
- ※ 問診調査の結果につきましては、結核検診以外には使用致しません。